

第2章 教 育 行 政

第1節 平成23年度福島県教育委員会 重点施策

- ☆ 県教育委員会では、平成22年3月に策定した「“ふくしまの和”で奏でる、こころ豊かなたくましい人づくり」を基本理念とする「第6次福島県総合教育計画」に基づき、3つの基本目標を定めて各施策を展開し、目標の達成を目指して教育行政を推進している。
- ☆ この計画の適切な運用に努めるため、3つの基本目標ごとに毎年度、重視する観点を以下のように定め、これに基づき実施する事業を明らかにしている。
- ☆ 特に、計画2年目となる平成23年度は、平成23年3月に発生した東日本大震災により、事業の見直しや縮小等をせざるを得ない状況となったため、本県教育分野の復旧・復興に向けた新たな対応を加えた上で、計画の推進を図っていく。
- ☆ 生涯学習、文化及びスポーツに関する事業については知事部局の企画調整部文化スポーツ局において所管しているが、県教育委員会も連携を図りながら推進していく。（企画調整部文化スポーツ局の事業に★を付す。）

「平成23年度に重視する観点」に対応した事業

基本目標1「知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成」において重視する観点
○生きる力をはぐくむ教育の推進
すべての子どもたちに「確かな学力」、「豊かなこころ」と「健やかな体」をバランスよくはぐくみます。
特に、新学習指導要領の円滑な実施、関係機関との連携による学力や体力の維持・向上、読書活動の推進、道徳教育の充実、小・中学校等における特別支援教育の推進などに取り組みます。

- 継続 学校の教育活動（全体）を通じた道徳教育の充実
休止 道徳教育総合支援事業
休止 人権教育開発事業
継続 ハートウォームプラン（スクールカウンセラー等活用事業、スクールカウンセラー活用事業、学校教育相談員配置事業、緊急時カウンセラー派遣事業、スクールソーシャルワーカー緊急派遣事業、子ども24時間いじめ電話相談事業、生徒指導・進路指導総合推進事業、不登校対策推進事業、魅力ある学校づくり調査研究事業）
継続 児童生徒の発達段階に応じた体験活動の推進
休止 学校すこやかプラン（夢をはぐくむいのち生きいきプロジェクト事業）（再掲）
休止 「みんなで築こう男女共同参画社会」公開授業
継続 幼児教育の振興

- 新規 豊かな心をはぐくむ子ども読書活動推進事業
継続 読書活動推進事業
継続 ふくしま子ども憲章推進事業
継続 児童生徒の体力向上推進事業
継続 運動身体づくりプログラムの普及
継続 スポーツ関係団体運営・活動支援★
継続 地域スポーツ人材の活用実践支援事業
継続 ふくしまつ子食育推進ネットワーク事業（朝食摂取率100%週間運動、食育推進地域検討委員会、食育推進コーディネーター研修会）
継続 学校すこやかプラン（子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業、健康教育推進者パワーアップ事業）
継続 教科等における言語活動の充実
継続 学校における読書活動の推進
新規 学力向上推進支援事業（小・中学校）
新規 学力向上推進支援事業（高等学校）
新規 活用力を高める学習指導の在り方に係る調査研究
継続 理科支援員配置事業
継続 スーパーサイエンスハイスクール事業
継続 サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト
休止 科学・技術研究論文募集事業（野口英世賞）
継続 中山間地域インターネット活用学校支援事業
継続 双葉地区教育構想（福祉健康人材育成プラン）
継続 小・中学校における勤労観・職業観の基盤形成
継続 高等学校における進路決定能力等の育成
継続 市町村立学校における職場体験活動の促進
継続 地域医療を担う人材育成プラン
継続 高等学校インターンシップ推進事業
継続 デュアルシステムの活用の普及
継続 就職促進支援員配置事業
継続 キャリア教育充実事業（専門高校活性化事業）
継続 特別支援教育総合推進事業
継続 地域教育相談推進事業
継続 特別支援教育体制促進事業
継続 「個別の教育支援計画」の作成と活用の促進
継続 「交流及び共同学習」の促進
継続 共に学ぶ環境づくりの推進
継続 視覚障がいに応じた教材教具貸与事業
継続 視覚障がい支援講師配置
継続 ADHD通級指導教室講師配置
継続 身体に障がいのある生徒に対する支援事業
継続 キャリア教育充実事業（特別支援就労支援事業）
継続 特別支援学校における医療的ケア実施事業
継続 校内研修の充実
継続 教員研修の充実
継続 情報化対応研修の充実
継続 ICTを活用した学習活動の推進

継 続 情報モラル教育に関する教材の開発や実践事例の提供等
 継 続 うつくしま教育ネットワーク事業
 継 続 県立学校校内LAN整備事業
 継 続 教育用コンピューター機器の整備
 継 続 ふくしまグローバルセミナー
 継 続 外国語指導助手の母国の文化や習慣を学ぶ機会の提供
 休 止 国際理解・国際交流論文募集事業（朝河貫一賞）
 継 続 うつくしま電子事典
 継 続 伝統や文化に触れる機会の充実
 継 続 外国語指導助手（ALT）の配置
 継 続 外国語指導助手指導力向上研修
 休 止 小学校外国語活動講座
 休 止 スキット甲子園への応募・参加推進
 継 続 外国人児童生徒等への支援体制の整備
 継 続 双葉地区教育構想（国際人育成プラン）
 継 続 会津学鳳中学校・高等学校における国際化社会、情報化社会のリーダーとして活躍できる人づくり
 継 続 医科大学運営費交付金
 継 続 会津大学運営費交付金

基本目標2「学校、家庭、地域が一体となった教育の実現」において重視する観点

○学校、家庭、地域の連携による教育力の向上

学校、家庭、地域がそれぞれの役割を確実に果たし、連携・協力を進めることができるよう、総合的に地域の教育力の向上を図ります。このため、地域全体で学校教育を支援する体制の整備や関係部局との連携による家庭教育の支援に取り組むとともに、文化施設相互の連携をさらに推進します。

継 続 学校支援地域本部事業
 継 続 体験活動・ボランティア推進センター事業
 継 続 放課後子どもプラン（放課後子ども教室）
 継 続 コーディネーター等の育成への支援
 休 止 社会教育研修会の充実
 休 止 公民館主事等の研修の充実
 継 続 公共図書館の連携による読書環境の整備・促進
 休 止 司書研修会の実施
 継 続 十七字のふれあい事業
 継 続 保護者への学習機会の提供
 新 規 子どもをはぐくむ家庭・地域支援事業
 継 続 家庭教育の情報や資料の提供
 継 続 PTA連合会等の支援
 継 続 夢わくわく「学ぶんジャー」プロジェクト★
 継 続 美術館・図書館・博物館の整備・充実
 継 続 いきいき地域文化活力創出事業（文化施設連携）
 新 規 ふくしまの学び環境整備事業★
 継 続 県民カレッジ推進事業★
 新 規 ふくしま子ども自然環境学習推進事業
 継 続 自然の家の利用促進

休 止 県立学校における森林自然学習支援事業
 休 止 「尾瀬子どもサミット」小・中学生3県交流事業
 休 止 「せせらぎスクール」への取組みの推進
 休 止 環境教育推進事業
 休 止 エネルギーに関する教育支援事業
 継 続 指定文化財保存活用事業
 継 続 埋蔵文化財周知事業（福島県遺跡・史跡等情報公開事業）
 継 続 21世紀ふくしま文化担い手育成事業（伝統芸能交流会）★
 継 続 夢わくわく「学ぶんジャー」プロジェクト（福島の映像文化アーカイブ事業）★
 継 続 21世紀ふくしま文化担い手育成事業（ふくしま文化少年倶楽部）★

基本目標3「豊かな教育環境の形成」において重視する観点

○教育環境の確保と復興に向けた取組の推進

震災により被災した教育施設の復旧、県立高校サテライト校の開設、児童生徒の受ける放射線量の低減、被災した児童生徒に適切に対応するための教員配置など子どもたちが安全で安心できる教育環境づくりに努めます。また、全国高等学校総合文化祭を本県で開催し、本県の若者はもとより、全国の若者とともに、「ふくしま」が新たな未来に向かって力強く歩み出している姿を全国にアピールします。

継 続 県立学校教員人事公募選考制度
 継 続 教職員目標管理制度の効果的な運用
 継 続 ライフステージに応じた研修の充実
 継 続 教員の服務倫理に関する研修の充実
 継 続 優秀教職員表彰制度
 継 続 指導不適切教諭等の資質向上事業
 継 続 学校の組織運営体制の改善
 継 続 教員の多忙化解消のための取組
 新 規 グループウェア活用による校務の情報化に関する調査研究
 新 規 被災児童生徒に係る適正な教員配置
 継 続 教職員健康管理事業
 継 続 教職員メンタルヘルス事業
 継 続 教職員相談事業
 継 続 学校評議員制度の導入の促進
 継 続 学校評価の充実
 継 続 学校評議員による学校関係者評価の実施
 継 続 新任校長研修会
 継 続 校長のためのマネジメント講座
 継 続 「ふくしま教育の日」啓発
 継 続 「学校へ行こう運動」の推進
 継 続 教職員の服務倫理の確立のための取組
 継 続 マニュアルに基づいた対応の徹底
 継 続 市町村教育委員会等への情報提供と感染予防・拡大

防止

継 続 学校安全計画の充実などによる安全体制の整備

継 続 県立学校等自動体外式除細動器整備事業

継 続 小・中学校における児童生徒の安全確保の促進

継 続 情報モラル教育の充実やネット被害等から児童生徒を守るための環境の整備

新 規 表土改善事業

新 規 線量低減化機器等整備事業

継 続 県有施設耐震改修事業（県立学校）

継 続 大規模改造事業

新 規 高等学校校舎改築事業

新 規 県立学校施設等災害復旧事業

継 続 市町村立学校施設の耐震化の促進

継 続 高校等奨学資金貸付事業

継 続 大学等奨学資金貸付事業

新 規 被災児童生徒等就学支援事業（幼稚園就園奨励事業、就学援助事業）

新 規 県立高等学校通学費補助事業

休 止 新しい文化の風交流事業★

継 続 声楽アンサンブルコンテスト全国大会開催事業★

継 続 文学賞実施事業★

休 止 県展開催事業★

継 続 全国高等学校総合文化祭開催事業

継 続 高校文化部サポート事業

継 続 うつくしま広域スポーツセンター事業★

継 続 「陸上王国福島」基盤整備事業★

継 続 ジュニアアスリート育成事業★

継 続 地域連携型人材育成事業（双葉地区教育構想）

継 続 うつくしまスポーツキッズ発掘事業★

新 規 競技力向上特別対策事業★

継 続 私立小中学校少人数教育推進事業補助金

継 続 私立幼稚園子育て支援推進事業

継 続 認定こども園支援事業

継 続 私立学校運営費補助金（一般分）

継 続 私立幼稚園心身障がい児教育費補助金

継 続 福島県私立学校教職員退職手当資金給付事業補助

継 続 福島県私学振興基金協会貸付金

継 続 私立学校運営費補助金（教育改革推進特別分）

継 続 高等学校等就学支援金

継 続 私立高等学校就学支援事業

継 続 私立専修学校就学支援事業

継 続 企業OB等の地域人材を活用した教育支援・県内企業就職促進支援事業

継 続 学校運営状況調査

継 続 少人数教育推進事業

継 続 特色ある教育課程の編成

新 規 サテライト校に係る取組

継 続 地域の実態に応じた教員の配置

継 続 学校改革調査事業

継 続 高校改革懇談会事業

継 続 通学区域についての検討

継 続 双葉地区教育構想推進事業

継 続 中高一貫教育校の効果的な運営と教育内容の改善

休 止 県立特別支援学校全体整備計画策定事業

第２節 教育委員会

１ 教育委員会

平成23年10月14日に開催された教育委員会定例会において、委員長に遠藤由美子委員が互選され、委員長職務代理には、日下龍一郎委員が指定された。

職名	氏名	就任年月日	職業	備考
委員長	遠藤由美子	平成20年 10月19日	書 籍 編集者	三島町
委員長職務代理者	日下龍一郎	平成20年 10月19日	農 業 自営業	南相馬市
委 員	小野 栄重	平成21年 12月24日	会 社 代 表 取 締 役	いわき市
委 員	境野 米子	平成23年 4月1日 (2期目)	生 活 評論家	福島市
委 員	鈴木 芳喜	平成19年 12月22日 (2期目) ※平成23年 12月21日 まで	弁 護 士	福島市
委 員	高橋 金一	平成23年 12月27日	弁 護 士	郡山市
教育長	遠藤 俊博	平成21年 4月1日 ※平成24年 3月31日 まで		福島市

２ 審議事項

4月定例会(23.4.22)

- 審議事項
 - (1) 教育長臨時代理による処理の承認について
(平成22年度福島県一般会計補正予算（災害関係、教育委員会関係部分）について）
 - (2) 教育長臨時代理による処理の承認について
(平成22年度福島県一般会計補正予算（繰越明許費、教育委員会関係部分）について）
 - (3) 教育長臨時代理による処理の承認について

(平成22年度福島県一般会計補正予算(事故繰越し、教育委員会関係部分)について)

- (4) 教育長臨時代理による処理の承認について
(平成23年度福島県一般会計補正予算(教育委員会関係部分)について)
- (5) 教育長臨時代理による処理の承認について
(福島県教育関係職員定数条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について)
- (6) 教育長臨時代理による処理の承認について
(福島県いわき海浜自然の家の指定管理者の指定の一部変更について)
- (7) 教育長臨時代理による処理の承認について
(福島県鉄砲刀剣類所持取締法関係手数料条例第1条の表17に係る手数料の免除について)
- (8) 教育長臨時代理による処理の承認について
(平成22年度福島県指定重要文化財の指定について)
- (9) 教育長臨時代理による処理の承認について
(平成22年度福島県指定重要有形民俗文化財の指定について)
- (10) 教育長臨時代理による処理の承認について
(平成22年度福島県指定重要文化財の追加指定について)
- (11) 教育長臨時代理による処理の承認について
(平成22年度福島県指定重要無形民俗文化財の追加指定及び名称変更について)
- (12) 教育長臨時代理による処理の承認について
(平成24年度使用教科用図書の採択等に関する諮問について)
- (13) 教育長臨時代理による処理の承認について
(福島県文化財保護審議会委員の任命について)
- (14) 教育長臨時代理による処理の承認について
(平成24年度使用教科用図書選定審議会委員の任命について)
- (15) 教育長臨時代理による処理の承認について
(福島県立博物館長の委嘱について)
- (16) 教育長臨時代理による処理の承認について
(福島県立博物館運営協議会委員の任命について)
- (17) 教育長臨時代理による処理の承認について
(平成23年度教育庁事務職員の人事について)
- (18) 教育長臨時代理による処理の承認について
(平成23年度教育庁教員系職員の人事について)
- (19) 教育長臨時代理による処理の承認について
(平成23年度市町村公立小・中・特別支援学校教職員の人事について)
- (20) 教育長臨時代理による処理の承認について
(平成23年度県立学校教職員の人事について)
- (21) 平成24年度福島県立学校教員採用について

○ 報告事項

- (1) 平成23年度福島県立特別支援学校高等部入学者選抜の結果について

(2) 裁決について

5月定例会(23.5.13)

○ 審議事項

- (1) 福島県立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について
- (2) 福島県奨学資金貸与条例の一部を改正する条例について
- (3) 福島県奨学資金貸与条例施行規則の一部を改正する規則について
- (4) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に基づく意見照会の回答について
- (5) 教育長臨時代理による処理の承認について
(平成22年度福島県一般会計補正予算(教育委員会関係部分)について)
- (6) 平成23年度5月補正予算案(教育委員会関係部分)について
- (7) 教職員の懲戒処分について

○ 報告事項

- (1) 平成24年度使用教科用図書の採択等に関する答申について
- (2) 平成23年度人事異動(教員系)関係日程について

6月定例会(23.6.17)

○ 審議事項

- (1) 教育職員の免許状に関する規則の一部を改正する規則について
- (2) 教育長臨時代理による処理の承認について
(平成23年度福島県一般会計補正予算(教育委員会関係部分)について)
- (3) 平成23年度6月補正予算案(教育委員会関係部分)について
- (4) 第6次福島県総合教育計画「平成23年度アクションプラン」について
- (5) 福島県学校教育審議会委員の任免について
- (6) 平成24年度使用教科用図書調査研究資料について
- (7) 平成24年度以降の通学区域制度の運用方針について
- (8) 教育長臨時代理による処理の承認について
(平成23年度教育庁事務職員の人事について)
- (9) 教育長臨時代理による処理の承認について
(市町村公立小学校長の人事について)

○ 報告事項

- (1) 平成23年度福島県立高等学校入学者選抜の結果について

7月定例会(23.7.22)

○ 審議事項

- (1) 福島県教育庁組織規則の一部を改正する規則について
- (2) 福島県教育関係職員定数条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則について
- (3) 教育長臨時代理による処理の承認について
(平成23年度福島県一般会計補正予算(教育委員会関係部分)について)

- (4) スポーツ振興法第18条第5項に基づく意見照会の回答について
- (5) 平成23年度教育庁等職員の人事について
- (6) 平成23年度市町村公立小・中・特別支援学校教職員の人事について
- (7) 平成23年度県立学校教職員の人事について
- (8) 教職員の懲戒処分について

8月定例会(23.8.19)

○ 審議事項

- (1) 平成24年度使用県立高等学校及び県立中学校の教科用図書の採択について
- (2) 平成24年度使用県立特別支援学校小学部・中学部・高等部の教科用図書の採択について
- (3) 教職員の懲戒処分について

○ 報告事項

- (1) 和解について

9月定例会(23.9.16)

○ 審議事項

- (1) 平成24年度福島県立高等学校入学者選抜について
- (2) 平成24年度福島県立中学校入学者選抜について
- (3) 平成24年度福島県立特別支援学校高等部入学者選抜について
- (4) 平成23年度9月補正予算案(教育委員会関係部分)について
- (5) 平成23年度教育・文化関係表彰について
- (6) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に基づく意見照会の回答について
- (7) 平成24年度福島県公立学校実習助手採用予定者数及び平成24年度福島県公立学校寄宿者指導員採用予定者数について
- (8) 教職員の懲戒処分について

○ 報告事項

- (1) 和解について

10月定例会(23.10.14)

○ 審議事項

- (1) 福島県いわき海浜自然の家の指定管理者の指定の開始日について
- (2) 福島県自然の家組織規則の一部を改正する規則について
- (3) 福島県教育委員会文書等管理規則の一部を改正する規則について
- (4) 福島県自然の家条例の一部を改正する条例の福島県いわき海浜自然の家に係る施行期日を定める規則について
- (5) 福島県自然の家条例施行規則の一部を改正する規則について
- (6) 福島県いわき海浜自然の家に係る福島県自然の家条例施行規則について
- (7) 平成24年度福島県立学校生徒募集定員について
- (8) 平成24年度人事異動方針及び各人事異動実施要項について

- (9) 図書館協議会委員の任命について
- (10) 平成24年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験について
- (11) 福島県教育庁等教員系職員の人事について
- (12) 教職員の懲戒処分について
- (13) 退職手当の支給について

○ 委員長選挙

○ 委員長職務代理者の指定

11月定例会(23.11.18)

○ 審議事項

- (1) 教職員の懲戒処分について

○ 報告事項

- (1) 平成23年度福島県立学校教職員の勤務評定について
- (2) 平成23年度福島県市町村立学校教職員の勤務評定について
- (3) 判決について

12月臨時会(23.12.6)

○ 審議事項

- (1) 福島県市町村立学校職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例案について
- (2) 平成23年度12月補正予算案(教育委員会関係部分)について

12月定例会(23.12.16)

○ 審議事項

- (1) 技能労務職員の給与及び勤務時間等に関する規則等の一部を改正する規則について
- (2) 福島県市町村公立学校教頭の人事について
- (3) 教職員の懲戒処分について
- (4) 退職手当の支給について

1月定例会(24.1.20)

○ 審議事項

- (1) 福島県教育庁本庁組織改編の基本方針について
- (2) 平成23年度教育・文化関係表彰について
- (3) 平成24年度福島県公立学校寄宿舎指導員採用候補者選考試験の合格者について
- (4) 平成24年度福島県公立学校実習助手採用候補者選考試験の合格者について
- (5) 教職員の懲戒処分について
- (6) 退職手当の支給について

○ 報告事項

- (1) 平成24年度人事異動(教員系)について

2月定例会(24.2.10)

○ 審議事項

- (1) 福島県立高等学校学則の一部を改正する規則について
- (2) 教育長臨時代理による処理の承認について(平成23年度教育・文化関係表彰について)
- (3) 平成24年度当初予算案(教育委員会関係部分)について
- (4) 平成23年度2月補正予算案(教育委員会関係部分)について

- (5) 福島県教育関係職員定数条例の一部を改正する条例案について
- (6) 福島県自然の家条例等の一部を改正する条例案について
- (7) 福島県立図書館協議会に関する条例の一部を改正する条例案について
- (8) 福島県立美術館運営協議会条例の一部を改正する条例案について
- (9) 福島県立博物館運営協議会条例の一部を改正する条例案について
- (10) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に基づく意見照会の回答について
- (11) 教職員の懲戒処分について
- (12) 退職手当の支給について

○ 報告事項

- (1) 平成23年度福島県市町村公立学校教職員の勤務評定について
- (2) 平成23年度福島県立学校教職員の勤務評定について

○ 協議事項

- (1) 平成24年度人事異動（教員系）について

3月臨時会(24.3.5)

○ 審議事項

- (1) 福島県教育委員会文書等管理規則の一部改正について
- (2) 平成24年度教育庁及び教育機関の主要職員（教員系）の人事について
- (3) 平成24年度市町村公立小・中・特別支援学校長の人事について
- (4) 平成24年度市町村公立小・中・特別支援学校教頭の人事について
- (5) 平成24年度県立学校長の人事について
- (6) 平成24年度県立学校教頭の人事について
- (7) 指導不適切教諭等に対する措置について

3月定例会(24.3.21)

○ 審議事項

- (1) 第6次福島県総合教育計画「平成24年度アクションプラン」について
- (2) 福島県教育庁組織規則の一部を改正する規則について
- (3) 福島県教育委員会文書等管理規則の一部を改正する規則について
- (4) 教科用図書選定審議会規則の一部を改正する規則について
- (5) 福島県教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則の一部を改正する規則について
- (6) 技能労務職員の給与及び勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則について
- (7) 平成25年度使用教科用図書選定審議会委員の任命について
- (8) 福島県立美術館長の委嘱について
- (9) 平成24年度教育庁職員及び教育機関の職員の人事について

- (10) 平成24年度市町村公立小・中・特別支援学校教職員の人事について
- (11) 平成24年度県立学校教職員の人事について
- (12) 福島県市町村公立学校教員の懲戒処分について
- (13) 教育委員会教育長予定者の選任について

○ 報告事項

- (1) 判決について

第3節 教育庁組織

政策監兼教育次長（総務） 清野 隆彦
 教育次長（業務）（～7月） 藤田 充
 教育次長（業務）（8月～） 久保田 範夫
 教育庁参事（人事・企画） 篠木 敏明

課室名	職名	課長等名
教育総務課	課長（～7月）	田中 義恭
	課長（8月～）	森下 平
	庁主幹兼副課長（～5月）	戸田 光昭
	庁主幹兼副課長（6月～）	齋野 和則
	庁企画主幹兼副課長	源後 正能
	副課長兼主任主査	小檜山 滋人
財務課	庁参事兼課長（～5月）	磯谷 義雄
	課長（6月～）	坂井 信一
	主幹兼副課長（～5月）	慶徳 庄斎
	主幹兼副課長（6月～）	菅野 信之
施設財産室	室長（～5月）	国分 敏明
	室長（6月～）	佐藤 隆
	主幹（～5月）	佐藤 隆
	主幹（6月～）	松本 信也
職員課	庁参事兼課長	薄 久男
	主幹兼副課長	大和田 修
	主幹（～5月）	力丸 忠博
	主幹（7月～）	朽木 栄作
福利課	庁参事兼課長（～5月）	佐藤 幹夫
	課長（6月～）	片平 隆博
	主幹兼副課長	亀岡 浩之
社会教育課	庁参事兼課長（～7月）	沢 宏一
	課長（8月～）	瀬谷 真理子
	主幹兼副課長	羽田 清治
	主幹（～7月）	増子 清一
	主幹（8月～）	木村 真一
	主幹（～7月）	瀬谷 真理子
文化財課	課長（～5月）	片平 隆博
	課長（6月～）	菅野 忠男
	主幹兼副課長	大平 好一
学習指導課	庁参事兼課長	本間 稔
	主幹兼副課長（～5月）	安齋 吾朗
	主幹兼副課長（6月～）	金澤 卓志
	主幹兼副課長（～7月）	笠井 淳一
	主幹兼副課長（8月～）	佐川 正人
	主幹（～7月）	吉田 啓一郎
	主幹（8月～）	竹田 真二
学校生活健康課	課長	吉田 尚
	主幹兼副課長（～5月）	大隅 義隆
	主幹兼副課長（6月～）	皆川 信一
	主幹（～7月）	池田 健一郎
	主幹（8月～）	渡辺 昇
全国高等学校 総合文化祭推進室	庁参事兼室長	笠原 裕二
	主幹（～8月）	熊田 孝

特別支援教育課	課長（～7月）	井戸川恵理子
	庁参事兼課長（8月～）	沢 宏一
	主幹兼副課長（6月～）	鈴木 正彦
	主幹兼副課長	芳賀 孝美
学校経営支援課	庁参事兼課長（～7月）	久保田 範夫
	課長（8月～）	田代 公啓
	主幹兼副課長	佐藤 行広
	主幹（～7月）	梅田 善幸
	主幹（8月～）	飯村 新市
	主幹	本多 光弥

教育事務所		
教育事務所	所長・次長名	課長名
県北	所長（～7月）大竹 正志	総務社会教育(兼) 滝口 守弘
	所長（8月～）面川 三雄	学校教育（～7月）吉田 豊彦
	次長(総) 滝口 守弘	学校教育（8月～）小林 喜則
	次長(業)（～7月）	
	面川 三雄	
	次長（業）（8月～）	
	齋藤 吉成	
県中	所長（～7月）佐藤 馨	総務社会教育(兼) 酒井 英資
	所長（8月～）大和田博行	学校教育（～7月）大和田範雄
	次長(総) 酒井 英資	学校教育（8月～）塩田 正信
	次長(業) 矢吹 伸一	
県南	所長（～7月）大和田博行	総務社会教育(兼) 吉田 隆
	所長（8月～）笠井 淳一	学校教育（～7月）大場 健哉
	次長(総) 吉田 隆	学校教育（8月～）松本 明倫
	次長(業)（～7月）	
	目黒 憲	
	次長(業)（8月～）	
	大場 健哉	
会津	所長 会田 智康	総務社会教育(兼) 樋山 公則
	次長(総) 樋山 公則	学校教育（～7月）菅野 哲哉
	次長(業)（～7月）	学校教育（8月～）寺木 誠伸
	箱崎二三彦	
	次長(業)（8月～）	
	菅野 哲哉	
南会津	所長（～7月）田中 靖則	総務社会教育(兼) 浅井源一郎
	所長（8月～）梅田 義幸	学校教育(兼) 刈屋 俊樹
	次長(総) 浅井源一郎	
	次長(業) 刈屋 俊樹	
相双	所長 小山 金也	総務社会教育(兼) 堀 敬一
	次長(総) 堀 敬一	学校教育 山野辺藤夫
	次長(業)（～7月）	
	遠藤雄二郎	
	次長（業）（8月～）	
	佐川 尚史	
いわき	所長 高橋 正人	総務社会教育(兼) 田村 昌一
	次長(総) 田村 昌一	学校教育(兼)（～7月）小澤 章雄
	次長(業)（～7月）	学校教育(兼)（8月～）川島 敬章
	小澤 章雄	
	次長（業）（8月～）	
	川島 敬章	

所管教育機関等

教 育 機 関 名	所 館 長 名	次 長 等 名
福 島 県 教 育 セ ン タ ー	滝 田 文 夫	次長(総務) (～5月) 村 山 猛 次長(総務) (6月～) 佐 藤 廣 美 総務管理部長(兼) (～5月) 村 山 猛 総務管理部長(兼) (6月～) 佐 藤 廣 美 研究・研修部長 (～7月) 太 田 孝 研究・研修部長 (8月～) 吉 田 豊 彦
福島県養護教育センター	円 谷 美 智 子	主幹兼事務長 小 池 和 善 企画事業部長 齋 藤 秀 美
福 島 県 立 図 書 館	佐 藤 義和(～5月) 平 澤 茂 樹(6月～)	副館長 (6月～) 高 松 努
福 島 県 立 美 術 館	酒 井 哲 朗	副館長 眞 壁 眞
福 島 県 立 博 物 館	赤 坂 憲 雄	副館長 岸 波 靖 彦
郡 山 自 然 の 家	本 田 樹(～7月) 小 澤 章 雄(8月～)	次長 固 山 博 之
会 津 自 然 の 家	石 井 賢一(～7月) 福 士 寛 樹(8月～)	主幹兼次長 (～5月) 丹 野 信 介 次長 (6月～) 長 沼 靖
相 馬 海 浜 自 然 の 家	宍 戸 弘 治(～7月) 小 山 金 也(8月～)	主幹兼次長 (～5月) 鈴 木 修 二 主幹兼次長 (兼) (6月～) 堀 敬 一
いわき海浜自然の家	松 岡 浩 三(～7月) 宍 戸 弘 治 (8月～ 10月)	主幹兼次長 (～5月) 大 堀 昌 造 主幹兼次長 (6月～10月) 片 寄 佳 一

第4節 企画調整

1 教職員現職教育計画の策定

- (1) 教職員現職教育担当者会議を開催し、平成24年度の教職員研修計画及び研究学校(地区)指定計画について策定に関する協議や関係課・所間の調整を行い、「福島県公立学校教職員現職教育計画」を策定した。

(2) 策定計画 ※震災のため1回だけの開催

回	開催期日	会議の場所	議事及び協議の概要
第1回	23. 8. 31	福島第一小学校会議室	○平成24年度教職員現職教育計画作成日程について ○平成24年度教職員現職教育計画策定に向けた全体及び各課・所の検討事項について ○各課・所における予算化等を見通した具体的改善案について ○平成24年度教職員現職教育計画の原稿依頼について

(3) 構成員

学習指導課
課長、主幹兼副課長、主任指導主事、担当指導主事
学校生活健康課
主幹、主任指導主事、主任栄養技師、担当指導主事
特別支援教育課
主幹兼副課長、主任指導主事、担当指導主事
教育総務課
庁企画主幹兼副課長、主任主査
社会教育課
主幹、主任社会教育主事、担当社会教育主事
学校経営支援課
主幹、主任管理主事、担当管理主事
教育センター
研究・研修部長、主任指導主事、担当指導主事
養護教育センター
企画事業部長、主任指導主事

2 調整事務

(1) 教育庁内企画・調整事務

- ア 総合教育計画に関する連絡調整
- イ 県教委重点施策に関する連絡調整
- ウ 県教委点検・評価に関する連絡調整
- エ 県重点事業に関する連絡調整
- オ 県重点施策策評価に関する連絡調整
- カ 政府予算対策に関する連絡調整
- キ 双葉地区教育構想推進事業に関する連絡調整

(2) 知事部局との調整事務

- ア 知事直轄
安全で安心な県づくり推進庁内連絡会議
- イ 総務部

行財政改革推進本部

ウ 企画調整部

県総合計画関係、政策評価関係、県重点事業関係、政府予算対策活動関係、過疎・中山間地域経営戦略本部会議、エネルギー政策検討会、電子社会推進本部会議、政策調整会議、避難地域復興推進会議、東日本大震災復旧・復興本部会議

エ 生活環境部

ユニバーサルデザイン推進本部会議、青少年健全育成推進本部、環境影響評価庁内連絡会議、循環型社会形成庁内推進会議、景観形成推進庁内連絡会、特定外来生物対応庁内連絡会、男女共同参画推進本部会議、環境・エネルギー施策推進庁内連絡会議、ふくしま地球温暖化対策推進本部会議、除染・廃棄物対策推進会議

オ 保健福祉部

子育て支援推進本部会議、高齢社会対策推進本部会議

カ 商工労働部

緊急経済・雇用対策本部会議、街なか再生プロジェクトチーム、企業誘致・立地企業振興対策本部会議

キ 農林水産部

ふくしま県産木材利用推進会議

ク 土木部

県有建築物保全推進連絡会議、都市計画行政連絡会議

第5節 広報・広聴

1 福島県の教育施策

本誌は、県教育委員会の教育行政施策等を、県民に広く伝えることにより、開かれた教育行政の推進に資するものであるが、震災の影響により発行中止となった。

2 教育委員会だより

(1) 編集方針

教育庁の新陣容や教育行政の諸領域の中から広報を要する事項及び教職員に周知させる必要のあるものを掲載し、教育委員会施策の徹底を図る。

(2) 内容

県教育委員会重点施策、県教育委員会所管予算、県教育庁組織改編の概要、県教育委員名簿・県教育庁新陣容、県教育庁の組織及び電話番号一覧、県教育庁各課・室配置図

(3) 規格・部数

ア 規格 A4判 8ページ

イ 部数 4,500部

(4) 配布対象

市町村教育委員会、県内公立学校、私立団体連合会、各教育関係機関、北海道・東北各県教育委員会等

(5) 発行時期

震災の影響により8月に発行

3 教育年報

(1) 編集方針

平成22年度の県教育行政の成果を記録し、将来に残る公的記録として保存する。

(2) 内容

平成22年度の本県教育行政の実績

(3) 規格・部数

ア 規格 A4判 294ページ

イ 部数 150部

(4) 配布対象

市町村教育委員会、各教育関係機関

4 福島県教育

(1) 編集方針

本県教育の実績と教育行政の要点を図式化して掲載し、教育庁への来訪者等に配布し、本県教育に対する理解を図る。

(2) 内容

本県教育の実情及び教育行政の要点

(3) 規格・部数

ア 規格 A4判 8ページ カラー

イ 部数 1,100部

(4) 配布対象

県教育行政機関への来訪者、市町村教育委員会、県内公立学校、各教育関係機関、各都道府県教育委員会等

5 ふくしま教育ニュース

(1) 編集方針

県教育委員会の教育行政施策、実績等を県民、特に保護者を対象として伝えることにより、本県教育に対する理解を図る。平成23年度は10月に1回のみ発行した。

(2) 内容

ア 第37号（10月発行）

教育環境の復旧・復興について

放射線の影響から子どもたちを守るために

東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故を受けて避難されている児童生徒の保護者の皆様へ

ふくしま総文について

(3) 規格・部数

ア 規格 A4判 4ページ カラー

イ 部数 第37号 280,000部

(4) 配布対象

県内公立学校の全保護者、県外に避難している児童生徒の保護者、私立幼稚園及び小・中・高等学校、市町村教育委員会、各教育関係機関等

6 教育庁各課・所・館の広報誌・紙

課・所・館名	広報誌・紙名	内 容	発行回数	判	ページ	発行部数	配 布 対 象
教 育 総 務 課	福 島 県 の 教 育	本県教育の実情及び教育行政の要点を図式化して表示	1	A 4	8	1,100	教育機関への海外等からの来訪者、教育関係機関等
	教育委員会だより	県教育長あいさつ、教育施策及び予算、県教育委員名簿、電話番号・室配置図	1	A 4	8	4,500	県内公立学校、私学団体連合会、教育関係機関等
	教 育 年 報	前年度の県教育行政の実績	1	A 4	291	150	市町村教委、教育関係機関等
	ふ く し ま 教 育 ニ ュ ー ス	第6次福島県総合教育計画、学力向上推進事業、ふくしま総文など	1	A 4	4	280,000	県内公立学校の全保護者・教職員、教育関係機関等
福 利 課	ふ く し ま 福 利 だ よ り	教職員の福利・厚生事業の紹介等	5	A 4	8	21,200	全教職員
	福利厚生のおしり	教職員の福利・厚生事業の紹介等	1	A 5	93	21,200	〃
社会教育課	社 会 教 育	社会教育に関する情報、活動状況の取りまとめ	1	A 4	8	2,000	市町村教委、公民館等
教 育 セ ン タ ー	要 覧	教育センターについての沿革、設置の趣旨、組織、予算、事業内容を掲載	1	A 4	20	200	学校、関係機関
	所報ふくしま「窓」	教育関係者の提言や県内教員の教育研究等についての紹介及び教育センターからの案内	2	A 4	各6	—	web に掲載
	研 究 紀 要	研究の成果をとりまとめて刊行し、本県学校教育の向上に資する。	1	A 4	84	1,250	学校、関係機関
養 護 教 育 セ ン タ ー	セ ン タ ー 案 内 リ ー フ レ ッ ト	事業の内容・啓発	1	A 4 二折		250	関係機関
	所 報 「特別支援教育」	センターの取組みや国内外の教育動向等	1	A 4	10	—	web に掲載
	要 覧	沿革、事業体系、事業概要、施設・設備	1	A 4	9	—	〃
	リ ー フ レ ッ ト	授業づくりの考え方とプロセスのまとめ	1	A 4 三折		50	研修 web に掲載
	研 究 紀 要	研究成果の発表	1	A 4	41	—	web に掲載

課・所・館名	広報誌・紙名	内 容	発行回数	判	ページ	発行部数	配 付 対 象
図 書 館	館 報 あ づ ま	図書館業務の広報	1	A 4	4	1,320	図書館・関係機関
	福島県図書館要覧	県立図書館の概況	1	A 4	20	—	web に掲載
美 術 館	美術館ニュース ART INFORMATION	企画展・普及事業等の案内	6	A 4 三折		各12,000	関係機関、来館者等
	ミュージアム カレンダー	年間事業紹介	1	B 5		40,000	〃
博 物 館	県立博物館年報	前年度の事業実績	1	A 4	85	400	関係機関
	月 行 事 予 定 表	月行事予定	12	A 4	128	各1,400	〃
	博 物 館 だ よ り	行事予定、企画展案内、講演要旨等	4	A 4	8	各3,500	学校、関係機関
	はくぶつかん ニ ュ ー ス	月毎の博物館行事予定及び博物館にかかわるニュース	12	A 4	2	各12,600	〃
	企画展ポスター・ リーフレット	企画展紹介	2	ポスターB2 リーフレット A4		5,500 80,000	学校、関係機関 関係機関、来館者など
	年間催し物案内	主催行事などの紹介	1	200×394 四折		45,000	関係機関、来館者など
自 然 の 家	利 用 案 内 (い わ き)	施設概要、利用方法等	1	A 4	1	2,000	関係機関
	企 画 事 業 案 内 (郡 山)	企画事業内容、実施期日、対象等	1	A 4	1		w e b に掲載
	会津自然の家だより (会 津)	企画事業内容、実施期日、対象等	1	A 3 (見開 裏表カラー)	4	3,000	学校、関係機関
文 化 財 センター 白 河 館	年 報	沿革、事業の概要、入館者統計、予算等	1	A 4	40	500	関係機関
	まほろん通信	イベントの内容、体験学習の案内等	3	A 4	4	各4,000	関係機関、利用者等
	研 究 紀 要	学芸員の調査、研究成果の報告	1	A 4	106	500	関係機関

7 教育長記者会見

(1) 平成23年7月25日(月)

- ・ 内容 平成23年度福島県公立学校教職員及び教育庁職員人事異動について
- ・ 場所 教育委員会

(2) 平成24年3月23日(金)

- ・ 内容 平成24年度福島県公立学校教職員及び教育庁職員人事異動について
- ・ 場所 教育委員会

8 記者発表及び資料提供

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
記者発表						1	1	2		1	1		6
資料提供	24	23	20	35	24	29	32	25	26	22	32	30	322

9 教育広聴会

県民各層との対話をとおして、多様化している県民の意向を積極的かつ多角的に把握し、県民と一体となった開かれた教育を推進するために実施するものであるが、平成23年度は震災の影響により実施しなかった。

10 平成23年度「ふくしま教育の日」啓発推進事業

県民の教育に対する理解、関心を高め、学校教育、社会教育及び文化の充実、発展を期するため、平成15年3月にふくしま教育の日条例を制定し、ふくしま教育の日(11月1日)及びふくしま教育週間(11月1日~7日)を設けている。当該期間を含むその前後の期間において「教育の日」の趣旨にふさわしい取組が実施されるよう、市町村や関係機関に働きかけるとともに普及啓発を図った。

11 県庁子ども参観デー

子どもたちに県庁を見学する機会を提供することにより、職業や社会への理解を深めてもらう機会とした。

また、この取組を広報することにより、県民に対して復興をアピールする機会とした。特に平成23年度は、一丸となって震災対策に取り組んでいる職員の姿や職場を見学することによって、復興に向けた県の取組を理解してもらうとともに、子どもたちを勇気づけ、生きる力を涵養することも目的とした。

- (1) 日時 平成23年8月19日(金) 9:30~12:00
(2) 参観者 小学生とその保護者など計52人
(3) 内容 ア 県庁見学(知事室・災害対策本部・議場・河川流域総合情報システム室)
イ 教育庁見学
ウ 教育委員との懇談

第6節 調査統計

平成23年度において実施した調査統計事業は、次のとおりである。なお、県単独調査である「進路状況等に関する調査」は、震災の影響により中止した。また、学校統計要覧も「学校基本調査」の実施が震災の影響により例年より遅れたため、平成24年度に作成を予定している。

1 地方教育費調査(一般統計)

この調査は、平成22会計年度において、学校教育、社会教育、生涯学習関連及び教育行政における県及び市町村(教育事務組合を含む。)から支出された経費並びに授業料等の収入の実態及び地方教育行政機関の組織等の状況を明らかにし、教育諸施策を検討・立案するための基礎資料を得ることを目的として文部科学省が実施したものであるが、教育費調査については岩手、宮城、福島県の3県は震災の影響により関係資料が滅失した市町村が存在したため、調査対象外とされ、教育行政調査のみが実施された。

2 社会教育調査(基幹統計)

この調査は、社会教育行政に必要な社会教育に関する基礎事項を明らかにすることを目的として文部科学省が実施するものである。平成23年度は岩手、宮城、福島県の3県において、震災の影響により関係資料が確認できない市町村が存在したため一部分は実施しなかった。なお、未実施の部分については、平成24年度に社会教育調査補完調査(一般統計)として実施することとなった。

第7節 教職員の給与

平成23年度の教職員の給与改定については、平成23年10月28日の県人事委員会給与勧告に基づき、給料及び諸手当について、平成23年12月定例県議会において給与条例等の一部改正が提案され、議決・公布された。その概要は次のとおりである。

1 給料の改定(平成24年1月1日適用)

50歳台の職員が在職する号給に重点において、給料が引き下げられたこと。

また、給与構造改革における経過措置額の算定基礎となる額について、平成18年3月31日現在の給料月額に100分の98.93を乗じて得た額に引き下げられたこと。

2 給料の調整額(平成24年1月1日適用)

給料月額の改定に伴い、教育職(高等学校教育職)給料表4級の調整基本額が13,400円から13,300円に改められたこと。

3 通勤手当(平成24年4月1日適用)

自動車等交通用具使用者の手当額が次のとおり改められたこと。

片道の 自動車等の 使用距離	手当額	
	自動車	自動車以外の原動機付きの交通用具
2 km 以上 4 km未満	2,400 円	2,000 円
4 km 以上 6 km未満	3,700 円	2,000 円
6 km 以上 8 km未満	4,900 円	2,500 円
8 km 以上 10 km未満	6,100 円	3,100 円
10 km 以上 12 km未満	7,300 円	3,700 円
12 km 以上 14 km未満	8,600 円	4,300 円
14 km 以上 16 km未満	9,800 円	4,900 円
16 km以上 18 km未満	11,000 円	5,500 円
18 km以上 20 km未満	12,300 円	6,200 円
20 km以上 22 km未満	13,500 円	6,800 円
22 km以上 24 km未満	14,700 円	7,400 円
24 km以上 26 km未満	15,900 円	8,000 円
26 km以上 28 km未満	17,200 円	8,600 円
28 km以上 30 km未満	18,400 円	9,200 円
30 km以上 32 km未満	19,600 円	9,800 円
32 km以上 34 km未満	20,800 円	10,400 円
34 km以上 36 km未満	22,100 円	11,100 円
36 km以上 38 km未満	23,300 円	11,700 円
38 km以上 40 km未満	24,500 円	12,300 円
40 km以上 45 km未満	27,200 円	13,600 円
45 km以上 50 km未満	29,900 円	15,000 円
50 km以上 55 km未満	32,400 円	16,200 円
55 km以上 60 km未満	34,700 円	17,400 円
60 km以上 65 km未満	36,500 円	18,300 円
65 km以上 70 km未満	39,300 円	19,700 円
70 km以上 75 km未満	42,100 円	21,100 円
75 km以上 80 km未満	44,900 円	22,500 円
80 km以上	47,700 円	23,900 円

4 特殊勤務手当（平成23年3月11日遡及適用）

東日本大震災に係る原子力発電所の事故に伴い災害応急作業等手当についての特例が次のとおり設けられ、教育委員会の所管に属する職員（市町村立学校職員を含む）が警戒区域等で業務を行った場合にも当該手当の支給対象とされたこと。

業務を行う区域				手当額 (日額)	
				H23. 3. 11 ～4. 21	H23. 4. 22 以降
警戒区域 (20km 圏内)	3 km 圏内	屋外	4 時間 以上	20, 000円	20, 000円
			4 時間 未満		12, 000円
		屋内		2, 000円	2, 000円
		屋外	4 時間 以上	10, 000円	10, 000円
			4 時間 未満		6, 000円
		屋内		2, 000円	2, 000円
	計画的避難 区域	屋外	4 時間 以上	5, 000円	5, 000円
4 時間 未満			3, 000円		
屋内		1, 000円	1, 000円		
屋内待避指示 区域 ※4/22解除 (20～30 km圏内)	屋外	4 時間 以上	2, 500円	—	
		4 時間 未満		—	
	屋内		—	—	

5 期末手当（平成23年12月1日適用）

育児休業の全期間が1か月以下の場合の基準日以前6か月の期間内における当該休業期間を在職期間から除算しないこととし、支給割合を減じないこととされたこと。

第 8 節 附属機関等
1 福島県学校教育審議会

根拠法令

福島県学校教育審議会条例（昭和 41 年福島県条例第 42 号）

目的

- ・ 教育委員会の諮問に応じ、学校教育の振興についての総合計画に関する事項及び学校教育についての基本的な重要施策に関する事項について調査審議する。
- ・ 学校教育に関する事項について、必要があると認めるときは、教育委員会に対し、意見を申し出る。

(1) 福島県学校教育審議会委員

任期：平成22年3月19日～平成24年3月18日

	氏 名	役 職 名	備 考
学識経験を有する者	五十嵐 まりい	元会津若松市教育委員会委員	会長
	大 場 盛 子	南相馬市生涯学習推進委員会委員長	
	小 沢 喜 仁	福島大学共生システム理工学類教授	
	加 藤 卓 哉	福島民友新聞社編集局長	
	神 谷 健 二	(社)日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会副会長	
	神 山 敬 章	いわき明星大学人文学部現代社会学科教授	
	菊 池 千代子	西郷村教育委員会委員長	副会長
	栗 城 善 和	連合福島会長代行	
	紺 野 嘉 昭	福島県商工会議所連合会理事	
	錫 谷 和 子	元福島市学校給食センター運営委員	
	高 信 由美子	元矢祭町教育委員会教育長	
	高 橋 明 子	前福島県社会教育委員	公募委員
	長 島 俊 一	福島県農業協同組合中央会常務理事	
	浪 岡 真 澄	福島県 P T A 連合会顧問	
	浜 津 三千雄	福島民報社取締役編集局長	
	室 井 伸 子	下郷町男女共同参画推進協議会会長	
	森 涼	福島県私立中学高等学校協会副会長	
市 町 村 長	三 保 恵 一	二本松市長	市長会推薦
	浅 和 定 次	大玉村長	町村会推薦(H22. 3. 19～H23. 6. 17)
	佐 藤 正 博	西郷村長	町村会推薦(H23. 6. 18～H24. 3. 18)

(2) 審議・経過

平成23年1月19日諮問事項「社会の変化に対応した今後の県立高等学校の在り方について」

東日本大震災及び原子力発電所事故の影響により、県内の状況がいまだ流動的であることから、県立高等学校の改革について議論できる状況にはないと判断し、平成23年度は開催しなかった。

なお、平成24年3月18日をもって委員の任期は満了した。

2 福島県社会教育委員の会議

根拠法令

社会教育法（昭和24年法律第207号）第15条並びに福島県社会教育委員の定数及び任期に関する条例（昭和24年福島県条例第56条）

目的

社会教育に関する諸計画を立案するとともに教育委員会の諮問に応じ、意見を述べたり必要な研究調査を行い、社会教育に関して教育長を経て教育委員会に助言する。

(1) 福島県社会教育委員

任期 平成22年6月20日～平成24年6月19日

区 分	氏 名	役 職 名	備 考
学校教育 関係者	古 川 満里子	福島市立鳥川小学校長	
	根 上 正 志	福島市立野田中学校長	
	柳 沼 陽 一	福島県立光南高等学校長	
社会教育 関係団体 の関係者	渡 辺 仁	福島県公民館連絡協議会会長	副議長
	小 熊 敬 子	福島県市町村社会教育委員連絡協議会副会長	
	吉 田 恵 三	福島県連合青年会幹事	
	佐 藤 壮一郎	福島県PTA連合会理事	
	小 林 清 美	福島県婦人団体連合会	
	新井田 萬壽子	福島県子ども会育成会連合会会長	
	根 本 佳 夫	福島県商工会連合会専務理事	
	瀬 田 弘 子	特別非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク	
家庭教育関係者	根 本 早 苗	福島県家庭教育インストラクター連絡協議会代表	
学 識 関係者	伊 藤 行 和	元福島県立磐城女子高等学校長	
	浜 島 京 子	福島大学人間発達文化学類教授	議長
公 募	佐 藤 晴 美	主婦	
	小 椋 詳 子	学習塾専従者	

(2) 定例会の開催

※ 震災のため開催できなかった。

3 福島県文化財保護審議会**(1) 福島県文化財保護審議会委員**

任期 平成23年4月1日～平成25年3月31日

氏 名	所 属 等	担 当 分 野	備考
有 賀 祥 隆	東北大学名誉教授	絵画	
伊 藤 喜 良	福島大学名誉教授・歴史学研究会・東北史学会	古文書(中世)・書跡・典籍	
永 広 昌 之	東北大学総合博物館・東北大学名誉教授・日本地質学会・日本古生物学会	天然記念物(地質鉱物、古生物)	
大 内 寛 隆	東北史学会評議員・東北大学国史談話会員・福島県史学会監査・福島大学史学会員	古文書(近世)、歴史資料	
岡 田 茂 弘	国立歴史博物館名誉教授・元東北歴史博物館長・日本考古学協会	考古資料・史跡・埋蔵文化財	会長
懸 田 弘 訓	会津大学非常勤講師・民俗芸能学会・福島県民俗学会・日本民俗音楽学会	有・無形民俗文化財	
狩 野 勝 重	元日本大学教授・工学博士・日本建築学会	建造物・伝統的建造物群	
木 村 吉 幸	福島大学教授・福島県自然環境保全審議会委員・福島県森林審議会委員	天然記念物(動物)	副会長
鈴 木 俊 行	(財)福島県都市公園・緑化協会・樹木医学会・日本桜学会	天然記念物(植物)	
竹 原 明 秀	岩手大学教授・日本生態学会・植生学会・日本植物学会	天然記念物(植生)	
田 辺 真 弓	郡山女子大学短期大学部教授・服装美学会・国際服飾学会	工芸品・染織	
辻 秀 人	東北学院大学教授・日本考古学協会	考古資料・史跡・埋蔵文化財	
藤 井 英二郎	千葉大学大学院教授・日本庭園学会	史跡・名勝地(庭園)	
藤 田 定 興	元福島県歴史資料館歴史資料課長・日本考古学協会	歴史資料・工芸品(宗教関係)	
若 林 繁	東京家政大学教授・美術史学会	彫刻	

(2) 会議

ア 第1回審議会

- (7) 期日 平成23年7月15日(金)
- (4) 場所 福島県立図書館 3階 会議室
- (7) 内容
 - a 東北地方太平洋沖地震による県内文化財の被災状況について
 - b 平成22年度福島県指定文化財等について
 - c 国指定文化財について

イ 第2回審議会

- (7) 期日 平成24年3月1日(木)
- (4) 場所 福島県庁西庁舎12階 第2会議室
- (7) 内容
 - a 東日本大震災で被災した県内文化財の復旧について
 - b 文化財レスキュー事業

第9節 市町村教育委員会

1 概要

本県の市町村教育委員会数は、平成24年5月1日現在、13市46町村1組合の計60である。

県教育委員会は、市町村教育委員会連絡協議会、都市教育長協議会、町村教育長協議会等との密接な連絡、連携のもとに、教育行政の適正な事務の執行と管理に努めている。

2 組織

平成24年5月1日現在、県内各市町村教育委員会の委員長及び教育長は次のとおりである。

教育委員会名	教育委員長	教 育 長
県北(8)		
福島市	芳賀 裕	佐藤俊市郎
伊達郡川俣町	佐藤 捷善	神田 紀
伊達市	遠藤 道雄	湯田 健一
伊達郡桑折町	大波 敏子	安藤 重男
伊達郡国見町	遊佐眞紀子	武田 正昭
二本松市	宮前 貢	小泉 裕明
安達郡大玉村	斎藤 雅子	押山 利一
本宮市	仲川 清	原瀬久美子
県中(12)		
郡山市	太田 宏	木村 孝雄
須賀川市	深谷 哲雄	坂野 順一
岩瀬郡鏡石町	吉田 栄新	高原孝一郎
岩瀬郡天栄村	高野 卓樹	武田 國男
石川郡石川町	鈴木 信教	高原 榮征
石川郡玉川村	月田 秀夫	富岡ケイ子
石川郡平田村	久保木新作	吾妻 幹廣
石川郡浅川町	緑川 貴司	内田 賢壽
石川郡古殿町	鈴木 英孝	大樂 宣和
田村市	吉田 忠晴	助川 弘道
田村郡三春町	武地 優子	遠藤 真弘
田村郡小野町	大千里義市	矢内今朝見
県南(9)		
白河市	藤田 克彦	伊藤 渉
西白河郡西郷村	菊池千代子	加藤 征男
西白河郡中島村	水野谷剛夫	佐藤 正敏
西白河郡矢吹町	藤井 義男	栗林 正樹
西白河郡泉崎村	白石 元子	穂積 貞子
東白川郡棚倉町	割栢 義夫	松本 市郎
東白川郡塙町	菊池 明夫	萩原 照夫
東白川郡矢祭町	金澤 孝明	二階堂章信
東白川郡鮫川村	水野 春雄	奥貫 洋

教育委員会名	教育委員長	教 育 長
会津(13)		
会津若松市	井上 禮子	星 憲隆
耶麻郡磐梯町	宮森 優治	齋藤 就治
耶麻郡猪苗代町	山本 明子	土屋 重憲
喜多方市	上野利一郎	菅井 一良
耶麻郡北塩原村	遠藤 耕二	佐藤 信寛
耶麻郡西会津町	井上 祐悦	佐藤 晃
河沼郡会津坂下町	佐瀬 昭雄	佐藤 玄
河沼郡湯川村	白岩 孝一	空席(※1)
河沼郡柳津町	小林 善一	目黒健一郎
大沼郡会津美里町	猪俣 一徳	佐治 和則
大沼郡三島町	小松 正志	北館 長一
大沼郡金山町	長谷川恵一	目黒 則雄
大沼郡昭和村	五十嵐喜久男	本名 幸平
南会津(5)		
南会津郡南会津町	渡部 謙一	五十嵐竹則
南会津郡下郷町	室井 伸子	大竹 康隆
南会津郡檜枝岐村	星 孝道	平野 信之
南会津郡只見町	小沼 一弘	齋藤 修一
南会津地方広域市町村圏組合	齋藤 修一	五十嵐竹則
相双(12)		
相馬郡新地町	加藤 潤一	村山 正之
相馬市	小畑 強子	山田耕一郎
南相馬市	大石 力彌	青木 紀男
相馬郡飯館村	佐藤 眞弘	廣瀬 要人
双葉郡浪江町	星 太子	畠山熙一郎
双葉郡葛尾村	東海林幸敏	猪狩 省造
双葉郡双葉町	岡村 隆夫	空席(※2)
双葉郡大熊町	嶋貫 光喜	武内 敏英
双葉郡富岡町	関本 征司	庄野富士男
双葉郡川内村	西山 光熙	石井 芳信
双葉郡檜葉町	松本ミサヲ	高橋 尚子
双葉郡広野町	黒田 征勝	芦川 鋭章
いわき(1)		
いわき市	蛭田 優子	吉田 浩

※1 職務代理者 教育次長 石川幸市

※2 職務代理者 教育総務課長 高野憲一

3 平成23年度市町村教育委員会援助指導の概要

県教育委員会は、市町村教育委員会教育長会議、新任教育委員研修会を開催して助言指導を行うとともに、教育行政関係の諸資料等を配布して県内市町村教育委員会への援助に努めた。

(1) 平成23年度福島県市町村教育委員会教育長会議

- ア 主催 福島県教育委員会
- イ 期日 平成23年6月9日(木)
- ウ 会場 福島テルサ3階 あぶくま
- エ 出席者 市町村教育委員会教育長 59名
- オ 内容 平成23年度教育庁各課(室)・所の重点施策の説明

(2) 平成23年度福島県市町村教育委員会新任教育委員研修会

- ア 主催 福島県市町村教育委員会連絡協議会
福島県教育委員会
- イ 期日 平成23年11月25日(金)
- ウ 会場 西庁舎12階 第3会議室
- エ 参加者 平成22年11月12日から平成23年9月30日の間に任命された委員及び、それ以前に就任し未参加の委員 32名
- オ 内容
 - 講話
 - ・演題 「教育委員に期待するもの」
 - ・講師 福島県教育委員会教育長 遠藤 俊博
 - 講話
 - ・演題 「教育委員会運営の現状と課題」
 - ・講師 西郷村教育委員会教育長 加藤 征男
 - 講義
 - ・演題 「教育委員会の組織と運営について」
 - ・講師 福島県教育庁職員課管理主事 石綿 厚

第10節 職員団体との話合い

平成23年度における「福島県教職員組合」「福島県高等学校教職員組合」「福島県立高等学校教職員組合」「福島県学校事務労働組合」との話合いのうち、主なものは次のとおりである。

1 福島県教職員組合

- (1) 平成23年11月22日
 - ア 給与改定、給与抑制、職務の級の見直しについて
 - イ 臨時的任用教職員の待遇及び勤務条件の改善について
 - ウ 就学援助について
 - エ 放射線被曝に関する健康診断のための休暇制度について
 - オ 児童生徒の心のケアについて
- (2) 平成23年12月1日
 - ア 現給保障について
 - イ 臨時採用教職員の賃金について
 - ウ 災害応急手当、諸手当について
 - エ 義務教育費国庫負担制度について
 - オ 教員採用試験、雇用の確保について
 - カ 学校カウンセラーについて
 - キ 除染について
 - ク 子育て休暇について
 - ケ 子ども、教職員を放射線による健康被害から守る件について
 - コ 学力テストについて
 - サ 精神疾患による休職者の試行勤務について

2 福島県高等学校教職員組合

- (1) 平成23年11月24日
 - ア 給与抑制について
 - イ 東日本大震災の対応について
 - ウ 放射線量低減について
 - エ スクールカウンセラーについて

- オ 浜通り地域の住居確保について
- カ 就職支援員について
- キ クラウドサービス導入について
- ク 教職員定数の維持について
- ケ 学校の統廃合について
- コ サテライト校について
- サ 諸手当について

(2) 平成23年12月2日

- ア 給与抑制について
- イ 多忙化解消について
- ウ 週休日の振替について
- エ 子育て休暇について
- オ 諸手当について
- カ 自律的労使関係について
- キ 教員免許更新制について

3 福島県立高等学校教職員組合

(1) 平成23年11月24日

- ア 賃金の問題について
- イ サテライト校について
- ウ 放射能対策について
- エ 子育て休暇について
- オ 長時間過密労働について

(2) 平成23年12月2日

- ア 長時間過密労働について
- イ 子育て休暇について
- ウ サテライト校について
- エ 放射能汚染から生徒教職員を守る事について
- オ 教育予算について
- カ 教員定数の問題について

4 福島県学校事務労働組合

(1) 平成23年11月22日

- ア 賃金抑制について
- イ 昇任昇給について
- ウ 永年勤続について
- エ 育児休業について
- オ 再任用について
- カ 臨時的任用職員の任用について
- キ 定数、配置、人事異動について

(2) 平成23年12月1日

- ア 給与について
- イ 賃金抑制について
- ウ 学校事務の共同実施について
- エ 人事異動について
- オ 定数配置について
- カ 学校の統廃合について
- キ 再任用について
- ク 昇任昇給について
- ケ 永年勤続、特別昇給について
- コ 臨時的任用職員の賃金について
- サ 安全確保、放射能の健康被害のリスクについて
- シ パワーハラスメントについて

第11節 不利益処分審査請求事件及び損害賠償請求事件

1 不利益処分審査請求事件

平成24年3月31日現在、県人事委員会に不利益処分審査請求事件として係属中のものは9件であり、その概要及び進行状況等は下表のとおりである。

請求事件名	請求年月日	請 求 の 内 容	請 求 者	備 考
懲戒処分取消請求事件 (7件)	昭48. 5. 28 ～昭60. 3. 29	昭48から昭60までに行われたストライキに係る懲戒処分についてその取消を請求	公立小・中学校 及び県立高等学校 教職員109名	準備手続中
人事異動取消請求事件	平23. 9. 28	平23. 8. 1付人事異動についてその取消を請求	公立高等学校教員	書面審理中
懲戒処分取消請求事件	平23. 12. 5	平23. 10. 14付懲戒処分についてその取消を請求	公立高等学校教員	同 上

2 損害賠償請求事件

平成24年3月31日現在、裁判所に係属中の事件はない。

第12節 特例民法法人等の監督等並びに公益信託の引き受けの許可及び監督の状況

・特例民法法人等
平成24年3月31日現在、県教育委員会の所管に属する特例民法法人は、特例財団法人55、特例社団法人7の計62である。
各法人から事業報告書・収支決算書、事業計画書、収支予算書等の提出を求めた。
平成23年度に解散した法人は下記のとおり。
(1) 財団法人生貝縫仙顕彰会 23. 11. 1解散
また、平成23年度に公益法人又は一般法人に移行した法人は下記のとおり。
(1) 公益財団法人会津地域教育・学術振興財団 23. 8. 8移行
(2) 公益財団法人岩山育英会 23. 12. 1移行
・公益信託
平成24年3月31日現在、県教育委員会の所管に属する信託法第66条に規定する公益信託は3件である。
なお、平成23年度に引き受けを許可した公益信託はない。

第13節 表彰及び叙勲

平成23年度教育・文化関係表彰式は11月1日(火)福島市音楽堂、平成24年2月10日(金)杉妻会館において、それぞれ厳粛のうちにも盛大に行われた。
また、文部科学大臣による地方教育行政功労者表彰式は10月14日(金)、また、教育者表彰式は11月30日(水)、文部科学省講堂において、それぞれ行われた。

1 教育・文化関係表彰

(1) 地方教育行政功労者(4名)

(前) 三春町教育委員会教育長 橋本 弘
(元) 西郷村教育委員会委員長 荒谷 幸作
(前) 会津美里町教育委員会教育長 新國 正明
いわき市教育委員会委員 馬目 順一

(2) 学校教育功労者(13名)

二本松市立岳下小学校長 斎藤 龍雄
福島市立福島第一中学校長 鈴木 昭雄
郡山市立金透小学校長 菅野 健一
郡山市立郡山第四中学校長 武藤 公夫
会津若松市立鶴城小学校長 芳賀 忠夫
会津若松市立第二中学校長 小野 俊夫
南会津町立田島中学校長 玉川 邦夫
南相馬市立原町第一中学校長 高篠 忍
いわき市立小名浜第一中学校長 村井 弘
福島県立福島高等学校長 富田 昭夫
福島県立郡山東高等学校長 玉川 一郎
福島県立白河高等学校長 三瓶 准一
福島県立葵高等学校長 新田 銀一

(3) 社会教育関係

ア 社会教育功労者(2名)
(元)福島市生涯学習を進める市民会議議長 塚本 繁
喜多方市社会教育委員の会議議長 山崎 信子
イ 功績顕著な団体・施設(4団体・3施設)
(社会教育団体)
西郷村熊倉婦人会
東尾岐やってみんべェ会
南会津町立伊南小学校学而遊育成会
新地町立福田小学校父母と教師の会
(社会教育施設)
郡山市立小原田地域公民館
須賀川市長沼公民館
喜多方市慶徳公民館

(4) 文化財保護関係

ア 文化財保護功労者(3名)
西会津町文化財調査委員会委員 根本 一
(元)奥会津地方歴史民俗資料館長 渡部 力夫
南相馬市文化財保護審議会会長 西 徹雄

(5) 学校体育・学校保健関係

ア 学校保健功労者(3名)
塙町立笹原小学校 学校医 中島 徹真
いわき市教育委員会 学校医 蓮沼 清夫
いわき市教育委員会 学校歯科医 村岡 諠

(6) へき地教育関係

ア へき地教育功労者(1名)
南会津町立檜沢小学校 渡部キヨ子
イ 功績顕著な団体(2団体)
会津若松市立湊小学校
只見町立只見小学校

(7) 永年勤続関係

	小学校	中学校	県立学校	教育庁	計
校長	6 2	3 4	0		9 6
教頭	5 5	3 7	8		1 0 0
教員	2 4 2	1 3 2	7 6		4 5 0
教員以外	3 3	2 3	1 0	2 4	9 0
計	3 9 2	2 2 6	9 4	2 4	7 3 6

(8) 特別功績者

ア 児童・生徒(団体)の部(9団体)
○ いわき市立汐見が丘小学校吹奏楽部
○ 郡山市立郡山第二中学校合唱部
○ 郡山市立郡山第二中学校管弦楽部
○ 猪苗代町立猪苗代中学校(富岡町立富岡第一中学校)男子バドミントン部
○ 猪苗代町立猪苗代中学校(富岡町立富岡第一中学校)女子バドミントン部
○ 南相馬市立原町第一中学校吹奏楽部
○ 安積黎明高等学校合唱団
○ 相馬高等学校出版局

○ 磐城高等学校放送委員会

イ 優秀教職員の部(19名)

伊達市立伊達小学校	教 諭	佐久間裕之
郡山市立行健第二小学校	養護教諭	湯田 厚子
西郷村立川谷小学校	主任主査	川島 典子
会津若松市立城南小学校	教 諭	菅家 篤
会津若松市立大戸小学校	主任養護教師	加藤 真理
只見町立只見小学校	教 諭	増田 憲子
伊達市立松陽中学校	教 諭	猪狩 克也
二本松市立二本松第三中学校	主 査	斎藤 浩明
郡山市立郡山第二中学校	教 諭	佐藤美奈子
白河市立五箇中学校	養護教諭	面川 幸子
西郷村立西郷第一中学校	教 諭	長田修一郎
会津若松市立第一中学校	教 諭	薄 昌弘
会津若松市立第六中学校	教 諭	久保木貞子
福島県立保原高等学校	教 諭	加藤 芳弘
福島県立郡山北工業高等学校	教 諭	深澤 剛
福島県立郡山萌世高等学校	教 諭	佐藤 博
福島県立須賀川養護学校	教 諭	星 ひろ子
福島県立西郷養護学校	教 諭	草野 雅明
福島県立相馬養護学校	主 査	山田 雅之

2 文部科学大臣表彰

(1) 地方教育行政功労者表彰(6名)

福島県教育委員会委員長	鈴木 芳喜
(前)本宮市(旧本宮町)教育委員会委員長	伊藤 滋敏
小野町教育委員会教育委員	先崎 太吉
(前)西郷村教育委員会委員長	菊地 順雄
(元)磐梯町教育委員会教育委員	吉田 勇
鮫川村教育委員会教育長	奥貫 洋

(2) 教育者表彰(3名)

福島県立福島高等学校長	富田 昭夫
福島県郡山市立郡山第四中学校長	武藤 公夫
福島県二本松市立岳下小学校長	斎藤 龍雄

3 春・秋・高齢者叙勲、死亡叙位・叙勲

(1) 平成23年春の叙勲

ア 瑞宝小綬章

杉原 陸夫(教育功労)	元福島県立福島高等学校長)
平山伊智男(教育功労)	元福島県立福島女子高等学校長)
上遠野洋明(教育功労)	元福島県立会津女子高等学校長)
根本 正紀(教育功労)	元福島県立会津高等学校長)

イ 瑞宝双光章

渡邊 専一(教育功労)	元福島県立安積高等学校長)
大和田紀男(教育功労)	元福島市立福島第四小学校長)
今泉 護(教育功労)	元郡山市立桃見台小学校長)
萬實清一郎(教育功労)	元会津若松市立城北小学校長)

(2) 平成23年秋の叙勲

ア 瑞宝小綬章

高城 俊春(教育功労)	元福島県立福島高等学校長)
齋藤 和也(教育功労)	元福島県立福島高等学校長)
村上 修(教育功労)	元福島県立福島女子高等学校長)

イ 瑞宝双光章

松本 忠清(教育功労)	元原町市立原町第一中学校長)
高田 久夫(教育功労)	元富岡町立富岡第一中学校長)
菊池 道雄(教育功労)	元福島市立渡利中学校長)
遠原 肇一(教育功労)	元浪江町立浪江東中学校長)

(3) 高齢者叙勲(平成23年4月1日～平成24年3月1日発令)

ア 瑞宝小綬章(教育功労)

佐々木士郎(元福島県立須賀川第二高等学校長)
佐藤 光(元福島県立長沼高等学校長)
角田 利雄(元福島県立安積第二高等学校長)
内藤豊治郎(元福島県立石川高等学校長)

イ 瑞宝双光章(教育功労)

五十嵐三郎(元河東町立河東第一小学校長)
松本 宗雄(元原町市立石神第一小学校長)
鈴木 勇(元塙町立社川小学校長)
太田 澄信(元矢吹町立三神小学校長)
今野 喜一(元南相馬市立太田小学校長)
岡 清明(元南相馬市立原町第三中学校長)
根本 富敏(元棚倉町立笹原小学校長)
半沢 正(元桑折町立大田小学校長)
海野 清瀬(元福島県立西郷養護学校長)
清水 茂(元檜葉町立檜葉北小学校長)
松本 邦夫(元郡山市立小原田中学校長)
久保木義男(元郡山市立行健小学校長)
佐藤 光一(元大越町立大越中学校長)
一ノ瀬秀夫(元一箕町立一箕小学校長)
松本 善勝(元葛尾村立葛尾小学校長)
渡邊 良才(元郡山市立小山田小学校長)
神 契道(元西郷村立米小学校長)
遠藤 時江(元郡山市立安子島小学校長)
菅野 喜八(元川俣町立川俣小学校長)
目黒 金三(元福島市立水原小学校長)
山本 清(元喜多方市立豊川小学校長)
荒川 義弥(元浅川町立浅川小学校長)
田多羅幸男(元会津坂下町立八幡小学校長)
二瓶 倭夫(元田島町立田島中学校長)
石井義八郎(元福島市立中野小学校長)
佐藤 善雄(元山都町立山都第一小学校長)
瀬川 政一(元福島市立佐倉小学校長)
矢吹 良雄(元小野町立小野中学校長)
圓谷甲子蔵(元郡山市立喜久田小学校長)
樋口 吉之(元天栄村立牧本小学校長)
岡部 政雄(元玉川村立泉中学校長)
夏井 久悦(元喜多方市立第三中学校長)
船田 宗勝(元会津本郷町立本郷第二小学校長)

(4) 死亡叙位・叙勲

《平成 23 年度》

正六位 遠 藤 大 海
(元福島県白沢村立糠沢小学校校長)

従五位瑞宝小綬章 森 義 男
(元福島県立川俣高等学校校長)

正六位瑞宝双光章 金 成 邦 夫
(元いわき市立中央台南中学校校長)

従六位瑞宝双光章 大 友 誠
(元伊達市立大田小学校校長)

正六位 設 樂 昌 壽
(元いわき市立小名浜第二小学校校長)

正六位 圓 谷 正 衛
(元白河市立白河第三小学校校長)

正六位瑞宝双光章 馬 場 正 司
(元福島県本郷町立本郷第二小学校校長)

従六位瑞宝双光章 佐々木 正 夫
(元福島県高郷村立高郷第一小学校校長)

従五位瑞宝小綬章 上 田 一 夫
(元福島県立郡山女子高等学校校長)

正六位瑞宝双光章 植 田 守
(元相馬市立中村第一小学校校長)

従五位 星 与 喜
(元福島県立福島北高等学校校長)

従五位瑞宝双光章 宗 像 信 夫
(元福島市立佐倉小学校校長)

従六位瑞宝双光章 村 越 英 夫
(元福島県泉崎村立泉崎第二小学校校長)

正六位 吉 田 喜代治
(元福島県梁川町立山舟生小学校校長)

正六位 箭 内 洪一郎
(元郡山市立郡山第一中学校校長)

従五位瑞宝双光章 鈴 木 茂 樹
(元福島県北会津村立北会津中学校校長)

正六位 平 野 久仁雄
(元福島県塙町立塙中学校校長)

正六位 小 林 武 俊
(元福島市立岡山小学校校長)

従五位瑞宝双光章 内 藤 衛
(元喜多方市立第一小学校校長)

正六位瑞宝双光章 矢 吹 成 一
(元郡山市立富田東小学校校長)

正六位瑞宝双光章 齋 藤 玄 良
(元福島県河東町立河東中学校校長)

従五位 古 関 富 男
(元福島市立福島第一小学校校長)

正六位 豊 田 要 三
(元福島県立磐城高等学校校長)

正六位瑞宝双光章 渡 辺 邦 雄

(元福島県船引町立船引小学校校長)

正六位瑞宝双光章 酒 井 正 三
(元福島県霊山町立小国小学校校長)

従六位瑞宝双光章 馬 場 惇
(元福島県只見町立只見小学校校長)

正六位 郡 久 雄
(元会津若松市立神指小学校校長)

正六位瑞宝双光章 矢 部 佑 武
(元福島県鏡石町立鏡石中学校校長)

正六位瑞宝双光章 芳 賀 常 夫
(元福島県古殿町立田口小学校校長)

従五位 賀 川 力
(元福島県立郡山北工業高等学校校長)

正六位瑞宝双光章 菊 田 宏
(元福島市立清水小学校校長)

正六位瑞宝双光章 鈴 木 利 司
(元二本松市立原瀬小学校校長)

正六位瑞宝双光章 熊 田 平八郎
(元いわき市立磐崎小学校校長)

正六位 白 井 恒 壽
(元福島県会津高田町立第一中学校校長)

従六位 永 峯 敏 春
(元会津若松市立永和小学校校長)

従五位瑞宝双光章 村 岡 信
(元郡山市立橘小学校校長)

従五位 鈴 木 勇
(元福島県棚倉町立社川小学校校長)

従五位 小 森 五 良
(元福島県立会津工業高等学校校長)

従五位 武 藤 長 英
(元二本松市立二本松第一中学校校長)

従五位 遠 藤 榮
(元福島県立福島農蚕高等学校校長)

正六位瑞宝双光章 木 村 則 雄
(元福島市立吉井田小学校校長)

正六位瑞宝双光章 千 葉 喜 三
(元福島県国見町梁川町大枝小学校組合立大枝小学校校長)

正六位 志 賀 敏 男
(元福島県大熊町立大野小学校校長)

従六位 上 野 強 司
(元福島県立富岡養護学校校長)

正六位瑞宝双光章 渡 邊 正 志
(元福島市立大島中学校校長)

正六位瑞宝双光章 大 堀 志 朗
(元いわき市立菊田小学校校長)

従五位 菊 地 孝
(元郡山市立金透小学校校長)

正六位瑞宝双光章 阿 部 武
(元いわき市立四倉小学校校長)

正六位瑞宝双光章 山 上 廣

	(元福島市立岡山小学校長)
従五位	遠 藤 典 夫 (元福島県立須賀川女子高等学校長)
従五位	高 坂 啓 作 (元福島県石川町立石川小学校長)
正六位	小 松 芳之助 (元福島県保原町立柱沢小学校長)
従六位瑞宝双光章	前 川 利 夫 (元原町市立石神第二小学校長)
正六位瑞宝双光章	佐 藤 勝 夫 (元福島県檜葉町立檜葉中学校長)
正六位瑞宝双光章	俣 野 博 貞 (元福島県鹿島町立真野小学校長)
正六位瑞宝双光章	尾 形 嘉 市 (元福島市立吉井田小学校長)
従五位	小山田 伸 (元福島県玉川村立泉中学校長)
正六位瑞宝双光章	金 田 俊 雄 (元福島県会津高田町立第二中学校長)
従五位	本 多 剛 (元二本松市立二本松北小学校長)
正六位	遠 藤 忠 房 (元郡山市立大島小学校長)
正五位	澁 谷 健 (元福島県立会津工業高等学校長)
正六位瑞宝双光章	古 川 正 彦 (元喜多方市立第二中学校長)
従五位瑞宝双光章	大和田 徳 芳 (元郡山市立安積第三小学校長)
正六位	塚 本 利 勝 (元福島県立福島東高等学校長)
正六位瑞宝双光章	須 佐 久 男 (元会津若松市立一箕中学校長)
正六位瑞宝双光章	石 井 丈 雄 (元いわき市立久之浜中学校長)
正六位瑞宝双光章	小 泉 隈 男 (元福島県大越町立上大越小学校長)
従五位瑞宝双光章	橋 本 義 男 (元福島県三春町立中郷小学校長)
従五位	井戸川 清 已 (元福島県船引町立船引中学校長)
正六位瑞宝双光章	佐 川 清 美 (元福島市立余目小学校長)
従六位	佐 川 萬二郎 (元福島県棚倉町立高野小学校長)
正六位	薄 葉 林 司 (元白河市立白河第三小学校長)

第14節 奨学育英

1 福島県奨学資金

(1) 貸与月額

区分	平成11～12年度 採 用 者	平成13～16年度 採 用 者	平成17年度以降 採 用 者
高等学校 高等専門 学校	国公立15,000 円 私立 19,000 円	国公立16,000 円 私立 20,000 円	国公立 自宅 18,000円 自宅外23,000円 私立 自宅 30,000円 自宅外35,000円
大学	国公立34,000 円 私立 39,000 円	国公立35,000 円 私立 40,000 円	国公立35,000 円 私立 40,000 円

(2) 平成23年度の貸与状況

ア 募集期間

(7) 在学採用

平成23年4月入学以降～6月30日

(4) 震災特例採用

平成23年10月5日～平成24年2月16日

イ 奨学生決定

(7) 在学採用

平成23年8月9日

(4) 震災特例採用

平成24年1月25日～随時

ウ 貸与状況

区 分	継続貸与	新 規 貸 与		計
		応募者数	貸与者数	
高 等 学 校 高等専門学校	592 人	1,847 人	1,837 人	2,429 人
大 学	245 人	63 人	63 人	308 人
計	837 人	1,910 人	1,900 人	2,737 人

うち震災特例採用 1,545 人

2 福島県高等学校定時制課程及び通信制課程 修学資金貸与制度

(1) 貸与月額

定時制課程

1～4 学年

14,000円

通信制課程

1～4 学年

14,000円

(2) 平成23年度の貸与状況

学 年 別	定時制	通信制	計
1 年 生	0 人		0 人
2 年 生	2		2
3 年 生	0		0
4 年 生	5		5
計	7	0	7